

法人役員のご紹介 2026年6月に役員の改選をしました

理 事		評 議 員			
大嶋 弘之	理事長	大野木 龍太郎	元・大学教授 静岡大学教育学部 非常勤講師	奥田 一雄	西伊場町 自治会長
中道 律子	児発ころころ伊場 管理者	小木 充	くすのき保育園 保護者 県立高校・校長	馬場 寛人	どんぐり保育園 父母と職員の会 会長
岩室 よね子	元・どんぐり保育園 園長	馬塚 晴之	元・万斛東民生委員	渥美 風真	くすのき保育園 父母と職員の会 会長
袴田 祐子	児発ころころ 管理者	鈴木 光一	万斛東民生委員	加藤 静	まつのき保育園 父母と職員の会 会長
加藤 朋子	みかんの家 管理者	天野 嘉章	西美園中 自治会長		
竹内 映晴	まつのき保育園 園長				
平野 愛	どんぐり保育園 園長				
太田 みさえ	くすのき保育園 園長				
監事・第三者委員		評議員選任・解任委員			
中村 正伸	元・中学校教諭	中村 正伸	監事・第三者委員		
知久 幹夫	元・静岡県技術職 獣医師	大石 志保	くすのき保育園 事務主任		
		富田 守信	元・どんぐり保育園 父母と職員の会 会長		

心も身体も満たされる食育活動に・・・

季節に応じて様々な野菜が栽培・収穫できるよう、どの施設も身近な環境の中に畑があり、日常的に食育活動を行っています。畑で採れた野菜のクッキングはもちろん、それ以外にも生の魚に触れて自分の手でさばいて焼いて食べるおさかなクッキングや梅シロップ、味噌づくりは毎年のこと。今年は甘夏ジャムづくりや煮干しを使ったふりかけ作り、シソの葉を干してすり鉢で細かくした「ゆかり」づくりなど0歳児から年齢に合わせた様々なクッキングを楽しんでいます。



【くすのき保育園 クッキング風景】

年中児の甘夏のジャムづくりではまず甘夏の皮をむき食べてみることから始めますが、皮が厚いので簡単ではありません。5本の指を使い、力を入れながら一生懸命むいていきます。やっと出てきた白い房から次は果肉だけ取る作業も子どもたちの手で。むいた果肉を先ず食べてみると「すっぱい!」。そこで甘くしようと砂糖を入れる。そこからジャム作りへと話が盛り上がっていきましました。甘夏と砂糖を煮詰めているとオレンジ色だった甘夏が「なんかちゃいらくなったね」と色が変化し「あまいにおいがしてきた」と。一つの食材も調理の過程で様々な形や色、味の変化に気づきます。ジャムは翌日給食のパンに塗って食べましたが、パンが苦手でご飯しか食べなかった子がこのジャムを塗ることで初めてパンを口にすることができました。余程嬉しかったのか、他のクラスの先生にも「ぱん、たべれたよ」と報告に行き、みんなに「美味しく食べれてよかったね」と声をかけてもらっていました。

また、野菜だけでなく高野豆腐などの変化のある食材も使い、手で触れる感触を味わいながら匂いを嗅いだり、削ったり、お湯に浸した豆腐を絞ってちぎり、砂糖醤油で味付けし、みんなで美味しく食べました。

こうしたクッキング活動は食材を観ることから始まり、実際に触れることで硬さや柔らかさなどの感触を感じ、どんな匂いがするのかその匂いは調理過程でどう変化していくのかを知り、実際に食べて味わうなど、自然に五感を働かせています。その経験を一人ではなく、安心できる大人や仲間と一緒にすること、そして仲間と会話をしながら楽しく食事をする中で、食べる意欲につながっていくのです。ころころやころころ伊場子どもたちの中には過敏性があり偏食の激しいお子さんもいますが栽培やミニクッキングで、食域が広がっています。



【ころころ クッキング風景】

心が豊かに育つ要素が多く含まれる食育。食べることは生きること。生きる力の源「食」を楽しみに感じることができる、そんな経験を乳幼児期に大切に位置づけていきたいです。

2026年1月～8月意見・要望・苦情報告

- どんぐり保育園、くすのき保育園、まつのき保育園、小規模保育事業所みかんの家
意見・要望・苦情ともにありませんでした。
- 児童発達支援事業所「ころころ」、「ころころ伊場」
意見・要望・苦情ともにありませんでした。